



社会福祉法人 すこやか福祉会
株式会社 ファミリーケア
2011年10月1日 第19号
＜4月・7月・10月・1月 年4回発行＞

葛飾やすらぎの郷 10周年祝賀会開催



祝
十周年



9月8日(土)葛飾やすらぎの郷にて10周年記念祝賀会が開催されました。台風の接近も心配されましたが、幸い天候にも恵まれ、209名の参加者の中、盛況のうちに終えることが出来ました。

やすらぎの郷が開設10年を迎えることが出来たこともひとえに、皆様の多大なるお力添え、ご理解の賜物と心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

今後ともご期待いただけるよう、また、地域の皆様にとって必要とされる施設になるように、職員一同力を合わせて行きたいと思っております。

引き続き、ご支援ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。



こばとの森 保育園通信



放射能問題 いま何を大事にするか!

こばとの森の子ども達は、この夏きれいになった園庭通路を活用して、縁日ごっこの“流しそうめん”を楽しみました。

流れるそうめんやみかんに大喜び、夏とは思えない食欲で最後まで竹筒の周りにへばりつき「おいしかった! 楽しかった!」と嬉しい感想を述べていました。9月を迎え、毎日水しぶきを上げて楽しんだプールも終了。これからは虫捕りや運動会練習で元気に遊びまわるようになります。



流しうめんの様子

ところがホットスポットといわれる葛飾で放射線数値が高い地域にある「こばとの森保育園」。

先日も区議団の方々に測定していただいた数値は、特に公園や芝生などのまさに子ども達のこれからの遊び場が大変高いのです!

葛飾区としての安全基準は文科省の示す毎時1マイクロシーベルトとのことです。外で遊んで過す時間などを概算すると、たとえ数値が高くても1マイクロシーベルト位の数値までは特別な対応は必要ないとの考えだそうです。しかしこの数値も自治体で基準は様々です。



安全基準の数値がハッキリしないのも無理からぬとは考えますが、こうも自治体ごとに基準値が違うことに戸惑うばかり。せめて子どもの安全・将来の健康を保障したいと考え

るなら、低めの基準数値を選択して欲しいと思います。先の長い放射能問題、皆さんは何を大事に考えますか?

こばとの森保育園 稲尾 和子

高校生 介護 一日体験 サービスセンターかなまち

すこやか福祉会及びファミリーケアのデイサービスでは、夏休みの高校生を対象に「介護一日体験」を行いました。

デイサービスセンターかなまちにも、8月1日と25日の2日間行い、25日は、埼玉県と千葉県の高校から2名の女子高生が参加しました。

体験は11時より自己紹介からスタートし、御利用者30名を前に、2人とも緊張した面持ちでしたが、職員から「何年生ですか?」「いくつですか?」の質問に「高校2年生で17歳です!」と答えると、御利用者からは「あら、私の孫と一緒に!」や「若くていいね!」90歳を超える方からは「ひ孫だねえー」など、皆さんとのやりとりで、徐々に表情も和らぎ2人とも笑顔でした。昼食にも同席し同じものを食べながら、個々に交流を深めてもらいました。

通常、午後からのレクリエーションは、体操とゲームを行うのですが、この日は毎年恒例の「納涼祭」と重なり、2人の女子高生には、いつもと違うレクリエーションを体験してもらいました。

職員も浴衣や甚平姿になり、2人もボランティアの方々と一緒に盆踊りやヨーヨー釣りなど



盆踊りを一緒に

のゲームのお手伝いし、「食」の方でも「お祭り気分」を味わっていただくために、お好み焼きに焼きそば、サイダーなどの冷たい飲み物も用意し、御利用者とともに夏の恒例行事の「体験」も楽しんでもらいました。2人とも「楽しかったです！ありがとうございます！！」と朝の不安げな表情はどこへやら？？笑顔で「一日体験」は終了しました。



祖父母が70歳前半という2人の女子高生でしたが、平均84歳のかなまちの御利用者の「パワー」を感じ、たくさんの「笑顔」にふれた「一日体験」をきっかけに介護職への興味が増し、介護の道に進んでくれることを願っております。

デイサービスセンターかなまち
久保田 瑞江

介護体験 一日体験 感想披露

- 自分が思っているより介護が大変で、前よりも興味がわきました。いろいろ知れて良かったです。
- 最初は介護ってどんなだろう？と思っていて不安なこともあったけど、すごく楽しかったし、なにより職員の皆さんがあたたかくて、安心して皆さんとお昼と一緒に食べたり、運動したり、お話が来ていい経験になりました。また来たいです。
- 大変そうですが、介護という仕事は大事な仕事だと今日あらためて思いました。
- 人を相手にする仕事は、大変な分、喜んでもらえるとうごく嬉しかったです。



- この体験を通して、老人に対する話し方は人生の先輩だと思って話す。これをこれからも大切にしていきたいと思いました。
- デイサービスの雰囲気がとても明るく、驚き、介護のイメージが変わりました。今日の体験を通じて、介護への興味がより高まりました。
- 最初はすごく緊張して不安でしたが、みんな明るく元気でたくさん話しかけてくださり、すごく楽しかったです。職員の方々もみんな優しく明るくて、不安もなくなりました。将来、興味のあることが他にもありますが、介護の仕事にも就いてみたいと思いました。

次回の高校生介護一日体験は、春休みに予定しております。



『すこやか福祉会を支援する会』に入りませんか？

- ①「やすらぎの郷チャリティバザー」
- ②「紫又花火観覧のつどい」
- ③「若葉コンサート」などの主催事業とすこやか福祉会や東都保健医療福祉協議会の各種行事に参加して、法人を支援しています。

年会費「1,000円」です

支援する会への入会方法

支援する会に入会ご希望の方は、下記までご連絡願います。
申込書及び郵便振替用紙を送らせていただきます。
また、ご質問などございましたらご連絡ください。
連絡先 TEL 03(5648)8250 やすらぎの郷
TEL 070(5558)8327 町田

本部事務局〒120-0023 東京都足立区千住曙町 4-16

TEL 03-5813-9251 FAX 03-5813-9252

URL すこやか福祉会 <http://www.sukoyaka-fu.or.jp>

URL ファミリーケア <http://www.family-care.co.jp>

所長のココロ ⑨



グループホームかなまち
鳴瀬 隼人

皆さんこんにちは。グループホームかなまちはホーム長を務めております鳴瀬 隼人（なるせ はやと）と申します。今年の5月で39歳になりました。SMAPの木村拓哉さん、はるな愛さんと同じ年です。今でいうアラフォーですね。

家族は妻1人、子供2人です。（小学校5年生の男の子と小学校2年生の女の子）早いもので結婚して今年で14年が経ちました。家族のみんなありがとう！！

すこやか福祉会には平成22年4月16日付けでグループホーム青戸に非常勤として入职しました。その後、同年9月1日付けでグループホームかなまちに常勤として異動して、同年11月1日付けにてホーム長を務めさせて頂いております。

すこやか福祉会に入職する前は足立区内にある協議会とは全く別法人のグループホームと老健に勤務していました。介護職としては今年で丸7年を迎えました。

昨年、ホーム長のお話を頂いた時は「何で俺が？…」と驚きました。

そのとき、今年98歳になる祖父が『人生には幾度かのチャンスがある。そのチャンスをものにするか、しないかは自分次第だ。まだいいやなんでもたもたしていたら2度とそのチャンスは無いかもしれない』と以前、話してくれた事を思い出し思い切って受ける事を決断しました。

新米ホーム長として約1年、自分を支えてくれているかなま치의スタッフ。協議会の先輩方。そして何より元気と勇気を与え続けてくださっている入居者さんやご家族の方々に感謝と敬意の気持ちを忘れずに邁進していきたいと思っております。

第8回 介護活動交流集会

～集い・熱い想いを共有し
明日の介護につなげていこう～

未曾有の大災害に見舞われた2011年、改めて「当たり前の生活」がいかに大切であるかを考えさせられた方は多いことでしょう。

我々介護に携わる人間は、今だからこそ、力を合わせて人々の生活を支えていかなければならないという強い想いで『第8回 東都保健医療福祉協議会 介護活動交流集会』を開きます。

【第8回介護活動交流集会 スローガン】

『つなげていこう介護の底力』

～震災から学ぶ、生活の原点～

日常の支援での奮闘や想いを共有し、より大きな想いへとつなげる機会にしていきたいものです。

皆さん是非会場にお越しください

実行委員長 山川剛也

第8回 介護活動交流集会 開 催 要 項

日時:2011年11月20日(日)
10:30～15:30

場所:海外研修センター(足立区)

参加費:無料

【記念講演】

『震災の中で実感した介護の真髄』(仮)
NPO法人全国コミュニティサポートセンター

池田昌弘 様

【演題発表】

各介護事業部より



ちよつと一枚
葛飾やすらぎの郷



『窓からほろえみ』